



# 井原市民病院 まいづる連携だより

平成 28 年 6 月発行 第 22 号

平成 28 年 6 月 20 日

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186 番地  
井原市民病院内 地域医療連携室  
TEL.0866-62-1133 連携室直通 FAX.0866-63-2840

## 第 2 2 回まいづる連携連絡会報

今年度は、退院支援に係わる医療、介護の連携機関の密に連携をとり、今まで以上に連携を強化して  
いこうというテーマで「まいづる連携連絡会」実施しています。その中で今回第 22 回は「介護施設との  
連携を強化しよう！ ～地域での生活を継続するために～」演題で平成 28 年 6 月 20 日（月）18：00  
～19：20 井原市民病院、理学療法室で開催しました。

参加して下さった施設の皆様をはじめ多くの在宅介護サービス、医療機関、薬剤師会の皆様、梅雨時の  
うっとうしい時候、お忙しい中ほんとうにありがとうございました。

今回のグループセッションは、初めての試みとしてワールドカフェ方式で行いました。施設側の皆様は  
同じこと繰り返し対応するといったご負担をかけてしまいました。巡回される側の皆様は一機会に沢山の  
意見が聞けて案外よかったのでは？といったご意見も頂戴しました。今後もよりよい連携が構築できる  
ように頑張りますのでご支援の程よろしくお祈いします。

手記 渡邊栄子



### 1. 特別養護老人ホーム きのこ荘 長楽園

- ・男性の利用者の空きがない、どうにかならないか？

→女性の割合からどうしても男性が少なく設定している。

きのこ荘 95 床 に対して 男性 15 床

長楽園 70 床 に対して 男性 8 床 どちらも多床室 個室も少ない。

- ・順番はどうなっているのか？

→要介護 4、5 が主となっている。高い介護度が優先、タイミングが合わないと順番がどうしても  
後になってしまう。

- ・申込み確認書について それがくると順番がきたと思う人がいる。

→施設側からみると確認書の返事を行い、何回も問い合わせをする方が順番に配慮できる。もちろ  
ん介護度が高い人が対象。要介護 3 は点数が低く、特別な事情等点数が上がる要素がないと入所は  
難しくなっている。



- ・特例入所について →特に今のところ取り扱ってはいない。・待機数 どちらも数百人
- ・看取り どちらも行っている  
→認知症などもうこれ以上治療の余地がなく生活のみといった方で特別処置を行わない方については看取りを行っている。  
長楽園 地元の先生のバックアップで時間、曜日で対応を決めている。
- ・医療的処置について
- ・きのこ荘 褥瘡の受け入れはしていない。医療依存度の高い人は難しい。胃瘻、在宅酸素はよい、もしくは要相談となる。
- ・申込みについては きのこ荘は要介護1、2でも受付はする。長楽園は対象のみの受付。
- ・ショートステイ利用 きのこ荘 5床 長楽園 10床  
長楽園 加算算定→旧美星、芳井、矢掛 送迎代は不要 その他は1kmにつき20円。
- ・身寄りのない人で後見人がいない場合はどちらも入所は難しい。

## 2. 有料老人ホーム いばら長寿の里

一番の売り：音楽（生演奏 リコーダー、アコーディオン）保育所とのふれあい。

職員のやさしさ 職員20人（16人が現場）定員30名 昼各フロア3人配置。

入所者フロア別に2チームに分けて入所者の情報を詳しく把握対応している。

- ・入所の優先順位はどうなっているのか？  
→申込みの順番で声をかけている。待ちは5人くらい。年間10人が入所。信用問題になるので順番を変えることはない。緊急時の対応は難しい。
- ・看取りはどうなっているのか？  
→オープンして9年 看取りをしたことはない。家族と話して点滴をすると入院となる。看取り希望される場合があるが、看護師は夜間いないため難しい。Nsは1名のみでオンコール体制。
- ・問題行動のある方はどの程度まで受け入れるか？  
→共同生活ができる人、迷惑をかけない人、暴れる人はいない。夜勤は1、2F1名ずつ。
- ・認知症の人を鍵付きの部屋に閉じ込めていたという事例についてどう思うか？  
→専門病院への紹介。家族と詳細に症状を話して協力を得るように努力する。家族との信頼関係が築けるようできるだけ対応させてもらう。
- ・費用は？→有料老人ホームの値段設定は自由に決めることができる。  
長寿の里は15～16万くらい/月 オムツ代は別途必要。  
介護要支援・介護でも可能。だれでも可能。特養入所まで利用の場合もあり。  
全個室  
夫婦部屋は今なし。
- ・医療行為は看護師が不在時は家族で対応することも可能である。
- ・食事療法 管理栄養士がいる。ミキサー食、治療食対応可能。好き嫌いにも対応。
- ・家族が送迎してくれれば透析患者も受け入れ可能。自己注射できればインスリンも受け入れ可能。胃瘻の受け入れはできない。在宅酸素は可能。吸痰はできない。
- ・要介護3の人が多い。
- ・介護度重いほど手がかかるがお金はどうなのか？介護度要支援1、2は経済面では困るが・・・



- ・当たり前のことが当たり前ができる。トイレ介助について拒否されることもある。職員は固定で入所のことがよくわかっている。気配り、きめ細かい対応ができています。
- ・リハビリはできないのか？→集団体操 その人にあった日常生活での生活支援。



### 3. グループホーム いづえ楽寿      グループホーム サンキウエルビィ

#### ○いづえ楽寿（定員18名）

特色：看取りまで行う。家族に負担がかからないように通院入院中の対応もしている。

家賃、管理代は頂く。入院時2～6か月待機可能。看取り加算は算定していない。

- ・グループホームはお金がかかる。
  - 13年になるが値上げはしていない。24時間の介護から見るとそんなに高いものでもなく、重度、暴力なども断らずみている。看取り、癌末期の方も受け入れしている。
  - 安心して預けて頂ける。家賃5万、手作りなど工夫して食費を3万でやっている。
- ・グループホームは通所へは行けない？
  - グループホームへ入所し、外泊中にデイサービスへいくことは可能。
- ・入所の順番：緊急の場合は優先することもある。困った時をきっかけに入ることが多い。小規模利用待ちでグループホームへ入ることもあり。
- ・看取りの方はいるか？
  - ほとんどが看取り。近所の開業医の先生に協力を頂いており、夜中の対応も可能で可能な限り対応してもらっている。夜間職員2名、緊急時管理者対応。
  - 何回も家族とどうするかと聞いておく。また最後の看取りは家族に泊まってもらう。
- ・空きがあるか？→ない。空いたら電話で連絡。
- ・看護師配置：いる。インスリンはできない。見守りでできれば可能。入所すると血糖がよくなる方が多い。介護度 4、5の方が多。市内の病院受診へは施設が付き添う。
- ・入院時の洗濯は行っている。
- ・自分でできることはしてもらう。リハビリはしていないが動けるようになる。
- ・料金は遠方の方は振込。月1回は来てもらって計画の立て直ししており、連絡は電話で頻回にしている。面会は毎日の方もおられ、制限はしていない。

#### ○サンキ（定員9名）

特色：地域の方が多く、自宅での生活の延長に近い形で過ごせるように心掛けている。

好きなように生活してもらっている。散歩もしてもらっている。

- ・看取り：家族の希望で病院へいくことが多く、まだ行った事例はない。
- ・要介護1～5までの方が入所されているが、動ける方も多い。

- ・1か月13万 良心的な値段。どこも変わらない。安くよいサービスを心掛けている。
- ・毎日の点滴は難しい。
- ・ワンユニット 1年の入れ替えは2~3人程度。主治医は認知症対応の病院の方が多い。受診は家族対応。
- ・入所空いていれば申込み順としている。
- ・同系列の小規模多機能を利用されている場合にも、他の申し込みの方と平等に申し込み順で待ってもらう。

#### 4. グループホームよしい 小規模多機能たんぼぼ

- ・空き状況：グループよしい：1床

たんぼぼ 空あり：(25名まで対応) グループ1床できるか？

- ・小規模多機能たんぼぼ 利用時には、ケアマネと情報交換してもらう。
- ・コストについて 紙パンツは家族が直接購入する場合もある。
- ・小規模多機能での泊まりは1か月1回は家に戻ることが基本だが、ケースバイケースで対応している。
- ・グループホーム介護度は2~3 空があれば要支援2でも利用できる。  
小規模たんぼぼは要支援1から可能。 グループホームは要支援2から可能。
- ・1か月利用して退所してもよい。合わなければ退所は可能。
- ・情報発信はどのようにしているか？  
→ブログ、挨拶周り、新聞を配布。
- ・医療行為は？



グループホームよしい・・・看護師はいないので簡単な処置のみ インスリン、胃瘻注入はできない。人工肛門のパウチの張り替えは可能。看取りも難しい。今後の検討課題。

協力医、かかりつけ医対応としている。

- ・たんぼぼ・・・夜間の医療行為はできない。経管栄養、吸引は以前対応していたが、現在は不可。病院受診は家族対応のことが多いが、遠方であれば施設対応。
- ・小規模 お泊り1泊の値段→2,700円(食費は別途)  
弁当配食、通所など要支援1~対象で暫定の利用はできない。毎日の訪問可能。
- ・グループよしい 9床 料金30日1割負担で15万 食費1日1,080円  
平均介護度要介護3 定期的見回り 夜間2時間毎 職員8名(日3名 夜1名)リフト浴あり。  
地域密着型 よしいの認知症カフェになっている。受診はその方のかかりつけに行っていたいでいる。  
基本的に家族受診だが遠方、緊急等は付き添う。夜間は18~翌9時までが勤務。専門調理員がいないのでローテーションで日勤者が作る。入浴3回/W
- ・たんぼぼ 学童保育との交流あり
- ・泊まりは週1回から6回の人もある。訪問のみの方は今はいないが配食が主。
- ・どれだけサービスが使えるのかサービスの中身が見えにくい。  
→毎日訪問、毎日通いで可能。
- ・小規模で看取りはあるのか？基本在宅なので在宅で看取ることはありが、病院入院をすすめている。

## 5. ケアハウス四季が丘、ケアハウスきのこセイモン、有料老人ホームいばら楽寿、コーポラティブらくじゅ

- ・入所の際どのような情報があればいいのか？→既往歴、生活歴が主に必要。その他、家族関係や本人の状況も必要。家族が難しい場合でも事前に教えてくれたほうが助かる。
- ・ショートステイを利用していた方と利用していない方とでは入所の時に優位差があるのか。→確かにご本人の情報を得やすいのはサービスを利用している方だが、状況によるため一概に優位とは限らない。基本的には、全体の状況で入所の判断を行う。
- ・いばら楽寿とコーポラティブらくじゅの違いはあるのか？→今はどちらも有料老人ホームのため、大きな違いはない。ただ、コーポラティブらくじゅが高専賃の流れが残っているため、管理費が若干安い。その他、光熱費等も部屋のメーターで支払うため、個人によって異なる。
- ・空床状況は？  
ケアハウス四季が丘→満床。待機者も多いが今すぐの入所希望者は少ない。  
ケアハウスきのこセイモン→満床。待機者も多いが今すぐ入所希望者は少ない。  
いばら楽寿→2床あきあり。  
コーポラティブらくじゅ→1床あきあり。
- ・入所の順番は何が優先されるのか？→申込み順（どこも）  
本人・家族の意向がはっきりすれば契約する。
- ・入院した時の席は？→ケアハウス四季が丘、コーポラティブらくじゅ、いばら楽寿は基本1か月。1ヶ月以上の場合にはご家族と要相談。  
きのこセイモンは3ヵ月間籍があるが、実際は3ヵ月後に戻ってくる人はほとんどいない。
- ・施設の入所対象者はどんな方か？  
ケアハウスセイモン：65歳以上で自立の方。介護度がなくても入れる。  
介護度があっても可能だが、排泄は自立、押し車、車いすで移動できることが必要。軽度の認知症は可能だが、徘徊したり物取られ妄想がある等は対象外。  
介護が必要になれば、ヘルパーを頼むなど外部の介護サービスを利用することは可能。  
退所が決まればケアマネと連携が必要。  
夜間は宿直がブザーで対応する。20時に戸締りする。夜間の訪室はなし。
- ・ケアハウス四季が丘：介護付ケアハウスのため、要介護1～5が対象。夜間帯の吸痰が頻回になると退所の方向で調整を行う。レビンの受け入れは難しい。
- ・コーポラティブらくじゅ：いばら楽寿と同様。
- ・いばら楽寿：自立～要介護5。レビンと透析の方の受け入れは難しい。医療行為が多いと入所は難しい。

## 6. 養護老人ホーム 偕楽園 天神介護老人保健施設

- ・偕楽園の入所基準 収入基準、定員は？→団体生活が可能であり、精神的に問題ある方は難しい。看取りはできない。収入についてはそれぞれ年金等で判断。県外の方でも入所は可能。  
入所基準が不透明でよくわからない。
- ・老健費用→年金額で費用が減免もあり。
- ・薬局から 老健で薬剤介入してほしいことは？薬剤師がいる。老健から薬剤手帳の情報が早くほしい。老健は包括となるので高い薬は嫌がられる。医療依存度の高い方は難しい。
- ・老健の在宅復帰率は？30%くらい。

- ・老健は今後どうなるか？中間施設なので決まった人の方が好まれる。
- ・リハビリ 20分/3回/W 3か月まで可能。事前相談してほしい。3ヶ月過ぎると10分に減る看護師でも可能なリハビリとなる。
- ・老健の利用期間は3か月？その人の状態に応じて対応。3か月毎で在宅、入所するサイクルはよい。
- ・老健入所している方が状態が悪くなった時の対応は？Drの指示 夜間はNsで対応。
- ・施設側→居宅のケアマネに質問、独居の方の対応はどうしているか？
- ・施設パンフレットなど持参していればもっと情報を伝えたい内容がわかりやすかったと思う。

おつかれさまでした！！



ゴーヤは今年も  
すくすく育っています  
(28.6.27 現在)



#### 4. 事務局の連絡事項よび次回の連絡の案内について

日 時：平成 28 年 9 月 12 日（月）18：00～19：30

テーマ： 『居宅介護業者との連携を強化しよう！

～連携における相互の現状と課題 ～』（仮）

担当者： 井原市民病院 地域医療連携室

理学療法室にて開催予定